

農事組合法人 飛雪の滝百姓塾 あさり【紀宝町浅里地区】

- 米のブランド化と「なれずし」の加工販売で、**集落営農法人の収益を確保!**
- 大水害復興ボランティアとの交流をきっかけに、**協定を締結した企業と協働で農作業を実施!**

取組地域の概要

浅里地区は県の最南端に位置し、熊野川を挟んで和歌山県と接している。斜面の石垣の上に並ぶ家々や集落の中央に広がる田園が美しい風景を形成し、「日本の里100選」にも選ばれている。

地域の名所である「飛雪の滝」にはキャンプ場とバーベキューサイトが設置され、夏になると約2,000人が訪れる。

平成23年の紀伊半島大水害により農地や水路等が甚大な被害を受けたが、地域住民の努力で復興した。



浅里で収穫される米を「飛雪米」としてブランド化

取組の背景

地域農業の発展をめざし、平成18年に地区内の生産者33名で構成する営農組織として、「飛雪の滝百姓塾」が設立された。平成27年に法人化され、地区の水田12haの作業を受託して水田を守るとともに、米のブランド化や伝統食「なれずし」生産販売による食文化の発信など、様々な活動を共同で行っている。

取組のポイント

ポイント1 収益性を高めるため、ブランド米「飛雪米」と「なれずし」を商品化

- ・浅里産のコシヒカリと結びの神を「飛雪米」として商品化するとともに、統一ラベルを作成してブランド価値の向上を図っている。また、道の駅「紀宝町ウミガメ公園」や愛知県金山駅で定期的に試食販売等のPRを実施し、顧客を獲得している。
- ・平成28年には加工施設を整備し、「飛雪米」を使用した「なれずし」の加工販売を開始した。

ポイント2 大水害復興ボランティアとの交流を契機に、企業との連携に発展

- ・紀伊半島大水害の災害復旧支援に、岡谷鋼機株式会社（名古屋）の社員がボランティアに入ったことがきっかけで、災害復旧が一段落ついた後も交流が続き、平成27年には、「農村活性化の取組に関する協定書」が締結された。
- ・年に2回、定期的に交流を行い、企業の社員の力も借りて、田植えや稲刈りなどの農作業とともに、竹藪の除去や獣害柵まわりの除草などに取り組む。



企業との協働活動で稲刈りを実施

今後の展望

「飛雪米」および「なれずし」の生産および販路拡大を進める。また、農村活性化に向け、企業との連携を継続していく。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県熊野農林事務所地域農政課
三重県紀州地域農業改良普及センター普及2課
電話：0597-89-6122